

# エンジェルビジョン デスクトップリーダー

## 取扱説明書

## 目次

1、はじめに。.....	5
1-1、取扱説明書音声 CD について。.....	5
1-2、内容物。.....	5
2、本機について。.....	6
2-1、各部の呼称および機能の説明。.....	6
2-1-1、本体前面。.....	6
カメラアーム.....	6
カメラ.....	7
センサー.....	7
LED ライト.....	7
ランプ.....	7
原稿位置確認突起.....	7
2-1-2、本体上面。.....	7
ボタン.....	8
ハンドル.....	8
2-1-3、本体右側面。.....	8
電源ボタン.....	8
2-1-4、本体左側面。.....	8
音量調整ボタン.....	8
2-1-5、本体背面。.....	9
内蔵スピーカー.....	9
HDMI 出力端子.....	9
AC アダプター接続端子.....	9
2-2、ボタンの説明。.....	9
左ナビゲーションボタン.....	9
再生ボタン.....	9
右ナビゲーションボタン.....	10
メニューボタン.....	10
カメラボタン.....	10
リターンボタン.....	10

3、使用前にご確認ください。.....	10
3-1、使用環境について。.....	10
3-2、原稿の置き方及び注意点。.....	10
3-3、カメラモードについて（ワンタッチモード、指差しモード、自動モード）。.....	12
カメラモードの切り替え方.....	12
ワンタッチモード.....	12
指差しモード.....	12
自動モード.....	12
4、使ってみましょう。.....	12
4-1、初めて本機を使う場合。.....	12
4-2、カメラアームを起こす。.....	13
4-3、電源を入れる。.....	13
4-4、読み取り範囲内に原稿を設置する。.....	13
4-5、原稿を読み取り、読み上げ。.....	13
4-6、再生を一時停止する。.....	14
4-7、原稿を保存する。.....	14
4-8、音量を調整する。.....	15
4-9、スリープモード。.....	15
4-10、電源を切る。.....	15
4-11、読み上げ機能全般について。.....	16
5、本機のメニュー。.....	16
5-1、メニューの呼び出しと終了。.....	16
5-2、メニューを使う。.....	16
5-2-1、保存した原稿を再生する。.....	17
5-2-2、保存した原稿を削除する。.....	17
5-2-3、読み上げ速度を調整する。.....	17
5-2-4、ボイスを選択する。.....	17
5-2-5、Wi-Fi 設定。.....	18
5-2-6、Bluetooth 接続。.....	19
5-2-7、詳細設定。.....	19
5-2-7-1、範囲設定。.....	19

5-2-7-2、 LED ライト設定。.....	20
5-2-8、 本体情報。.....	20
5-2-8-1、 システム情報。.....	20
5-2-8-2、 リセット。.....	20
5-2-8-3、 ソフトウェアのアップグレード。.....	21
6、 充電とバッテリー。.....	21
6-1、 バッテリー残量の確認。.....	21
6-2、 バッテリーの充電方法。.....	21
7、 原稿をパソコンで読み込む。.....	22
8、 モニターに接続する。.....	22
9、 故障かなと思ったら…。.....	23
9-1、 電源が入らない。.....	23
9-2、 充電できない。.....	23
9-3、 カメラボタンを押しても反応しない。.....	23
9-4、 どのボタンを押しても反応しない。.....	23
9-5、 原稿を認識できない。.....	24
9-6、 原稿を保存できない。.....	24
9-7、 その他。.....	25
10、 注意事項。.....	25
11、 免責事項。.....	25
12、 仕様情報。.....	26
13、 お問い合わせ窓口。.....	27

## 1、はじめに。

この度は、エンジェルビジョン デスクトップリーダー（以下、本機と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機は NEXTVPU 社が開発した視覚障害者用音声読書器です。

電源を入れ、確認したい原稿を設置するだけで、自動で原稿を認識し原稿の内容を音声で読み上げます。読み取り方法は用途に合わせて、自動、ワンタッチ、指差しの各モードに変更できます。最大で A3 原稿を横に置いたサイズまでの範囲を認識できますので、A4 サイズの雑誌等を見開きで読み上げる事ができます。マイクロ SD カードが付属していますので、読み取った原稿を保存したり、保存したデータを再生したりすることも可能です。

また、本機にはバッテリーが内蔵されており、事前に充電しておくことで、外部電源がないところでも使用が可能です。

### 1-1、取扱説明書音声 CD について。

ご使用前に取扱説明書音声 CD をお聞きいただき、正しく本機をご使用ください。本機の仕様などは予告なく変更されることがあり、取扱説明書音声 CD の内容が最新ではない可能性がありますので、予めご了承ください。

### 1-2、内容物。

本機のパッケージの内容物は以下の通りです。すべて揃っているかご確認ください。

エンジェルビジョン デスクトップリーダー（本体）

AC アダプター、電源ケーブル

マイクロ SD カード（本体挿入済み）

取扱説明書、取扱説明書音声 CD

簡単マニュアル、各部の名称、メニューツリー

性能確認用サンプル

製品保証書、および、ユーザー登録用紙

内容物に過不足がありましたら、ご購入いただいた販売店、もしくは 13.お問い合わせ窓口、の章に記載されているお問い合わせ窓口までご連絡ください。

## 2、本機について。

この章では、本機の外観の特長や各部及びボタンの機能について説明します。

### 2-1、各部の呼称および機能の説明。

ここでは各部の名称と位置、そしてそれぞれの機能を説明します。

#### 2-1-1、本体前面。

本体前面には、カメラアームがあります。カメラアームには、カメラ、センサーと LED ライトが付いています。以下でそれぞれについて詳しく説明します。

##### カメラアーム

本体前面の中央部分の少し盛り上げている部分がはね上げ式のカメラアームです。カメラアームの下部を本体側にカチッと音がするまで押し込むと、カメラアームが起き上がります。カメラアームを収納する時は、カメラアームをカチッと音がするまで本体側に優しく押し込んでください。カメラアームを起こした状態で放置すると、衣服などが引っ掛かり、落下や破損の原因になりますので、使用後は必ずカメラアームを閉じて保管してください。なお、原稿の読み上げ途中にカメラアームを収納しても読み上げ続けます。

※カメラアームは、起き上がると本体から 20cm 程度手前に出てきます。顔などを近づけていると当たる場合がありますので、ご注意ください。

また、カメラアームの起き上がり時について、本体側にカチッと音がするまで押し込んだ後は、指をすぐに放してください。指を添えたままにしているとアームの起き上がる力が弱められ、うまく起き上がれない場合があります。その場合は、もう一度、本体側にカメラアームを押し込んで起こしてください。

## カメラ

カメラアームが起き上がると、アームの先にカメラがあります。このカメラは、本体の前に置かれた原稿を読み取ります。カメラが汚れると読み取り精度に影響が出ますので、カメラを指で触らないでください。

## センサー

カメラアームが起き上がると、アームの先のカメラから少し本体側に、センサーがあります。このセンサーは、本体の前に置かれた原稿の位置、方向などを判別します。センサーが汚れると読み取り精度に影響が出ますので、センサーを指で触らないでください。

## LED ライト

カメラアームが起き上がると、アームの先のセンサーから少し本体側に、LED ライトがあります。LED ライトが汚れたり破損したりすると、読み取り精度に影響が出ますので、LED ライトを指で触らないでください。

## ランプ

本体前面の右上にランプが3つ縦に並んでいます。1番下のランプは、電源ランプで、電源を入れると青く点灯し、スリープモードでは点滅し、電源が切れると消灯します。2番目のランプは、充電ランプで、充電をすると赤色に点灯し、充電が完了すると緑色にランプが点灯し、充電されていない時は消灯します。1番上のランプは、Bluetooth ランプで、Bluetooth の機器を接続すると白色に点灯し、機器の検索中は点滅し、接続されていない時は消灯します。

## 原稿位置確認突起

本体の前面の下側に本体の左右の中心となる小さな突起の原稿位置確認突起が縦に3つあります。この原稿位置確認突起は、原稿を置く時に原稿の左右の中心をこの位置に合わす為の目印となります。

## 2-1-2、 本体上面。

本体上面には、各種操作ボタンがあり、上面に近い左右の側面から、ハンドルが出ています。

## ボタン

本体の上面には、再生ボタンやカメラボタンなどの6つのボタンがあります。各ボタンの詳しい説明は、2.2 ボタンの説明の章をご参照ください。

## ハンドル

本体の上面に近い左右の側面には、持ち運びの際に使用するハンドルがあります。

### 2-1-3、 本体右側面。

本体の右側面のハンドルの付け根のすぐ下に、電源ボタンがあります。電源ボタンから指を下部に動かしていくと縦長のゴムカバーの突起に指が引っ掛かります。ゴムカバーを外すと、縦長に凹んだ部分があり、凹んだ部分に4つの接続端子が縦に並んでいます。端子は上からUSB-A 接続端子、マイクロSDカード挿入口、USB-C 接続端子、イヤホン接続端子となっています。マイクロSDカード挿入口には、付属のマイクロSDカードがあらかじめ挿入されています。USB-A 接続端子、USB-C 接続端子は、メンテナンス用です。

## 電源ボタン

本体右側面のハンドルの付け根のすぐ下にあるボタンです。電源を入り切りするには、電源ボタンを約2秒長押しします。任意でスリープモードに入れたり、スリープモードから再度本機を立ち上げたりする場合は、電源ボタンを短く押してください。

### 2-1-4、 本体左側面。

本体の左側面のハンドルの付け根のすぐ下に楕円形の音量調整ボタンがあります。

## 音量調整ボタン

本体の左側面のハンドルの付け根のすぐ下にある楕円形のボタンです。ボタン上側の音量プラスボタンを押す度に、音量が大きくなり、ボタン下側の音量マイナスボタンを押す度に、音量が小さくなります。



## 2-1-5、 本体背面。

本体背面を正面にして見た場合、中央に内蔵スピーカーがあります。スピーカーの下に横長のゴムカバーがあり、ゴムカバーを外すと、横長に凹んだ部分があり、凹んだ部分の左側が HDMI 出力端子、右側が AC アダプター接続端子です。

### 内蔵スピーカー

本体背面の中央には、音声が出るスピーカーがあります。

### HDMI 出力端子

本機で撮影した画像などをテレビまたは外部モニターに出力するための端子です。

### AC アダプター接続端子

本機の充電を行う際に、電源ケーブルを接続する端子です。

## 2-2、 ボタンの説明。

本体の上面には、奥と手前の二行に分かれ各行に 3 個ずつ、合わせて 6 個のボタンがあります。本体前面を正面から見た場合、上面の奥の行には、左側から左ナビゲーションボタン、再生ボタン、右ナビゲーションボタンがあります。手前の行には、左側からメニューボタン、カメラボタン、リターンボタンがあります。以下ではそれぞれのボタンの機能と操作を説明します。

### 左ナビゲーションボタン

本体上面、奥の行、左側のボタンです。カメラモードで使用の場合は、3つのモード（ワンタッチモード、自動モード、指差しモード）を循環的に切り替えます。カメラモードについては、3.3 カメラモードについて、の章をご参照ください。読み上げ中に左ナビゲーションボタンを押すと、行または句読点単位で巻き戻すことができます。メニューを開いている場合は、項目の選択ボタンとして、前の項目に移動するために使用します。

### 再生ボタン

本体上面、奥の行、中央のボタンです。押すと読み上げている内容を「一時停止」または「再生」します。

## 右ナビゲーションボタン

本体上面、奥の行、右側のボタンです。カメラモードで使用の場合は、3つのモードを循環的に切り替えます。読み上げ中に右ナビゲーションボタンを押すと、行または句読点単位で早送りすることができます。メニューを開いている場合は、項目の選択ボタンとして、次の項目に移動するために使用します。

## メニューボタン

本体上面、手前の行、左端のボタンです。メニューボタンを押すと、メインメニューに入ります。カメラモードで読み上げ中に長押しをすると、読み上げ中の原稿を保存する事ができます。メインメニュー及び、保存の詳しい説明は、5.本機のメニュー及び 4.7 原稿を保存する、の章をご参照ください。

## カメラボタン

本体上面、手前の行、中央のボタンです。カメラモードがワンタッチモードの場合にカメラボタンを押すと、原稿を撮影し、その後自動的に読み上げが始まります。また、メニューを開いている場合は、選択している項目の決定ボタンとして使用します。

## リターンボタン

本体上面、手前の行、右側のボタンです。読み上げ中にリターンボタンを押すと、読み上げをキャンセルし、使用中のカメラモードに戻ります。読み上げ待機中に押すと、電源を入れた時のカメラモードになります。リセット後にリターンボタンを押すと、ワンタッチモードになります。メニューを開いている場合は、設定をキャンセルまたは、上位メニューに戻ります。

### 3、使用前にご確認ください。

#### 3-1、使用環境について。

本機は、通常の電灯下でご使用ください。また、周辺の物の影などが原稿に入り込むことで、読み上げに影響する場合がありますので環境に注意してください。

#### 3-2、原稿の置き方及び注意点。

原稿は、文字と文字背景に一定のコントラストがあることが望ましく、白い背景で黒い文字を推奨します。また、できるだけ反射しないようにしてください。本機は、原稿の文字の

向きや、原稿を置く位置が正しくなければ、読み上げることができません。原稿の向きは、原稿の上側を本体の前面側にセットしてください。この時、本体の前面の下側にある原稿位置確認突起が原稿の左右の中心付近に来るようにし、本体と原稿が出来るだけ平行になるように原稿を置きます。

上下の位置としては本体の前面の一番下側が原稿に触れる程度に置いてください。ただし、原稿に余白が少ない場合は、原稿を少し手前に置いてください。参考として、原稿に約 15 cm の高さがある場合で、5cm 程度原稿を手前に置いてください。

読み取りできる原稿サイズは、原稿位置確認突起を中心に A3 サイズの横置きが最大サイズです。また、認識できる原稿の高さは、原稿が A3 サイズ横及び A4 サイズ縦の場合、約 5.5cm の高さまでです。原稿が A4 サイズ横及び A5 サイズ縦の場合、約 15cm までです。範囲を超えてしまうと、原稿が入りきらず、正しく読み上げない場合があります。

名刺サイズ程度の小さな原稿を上手く読上げない場合は本体から約 10cm～20cm 手前の、カメラの真下付近に原稿を置いてください。

なお、本機は原稿サイズを自動で認識して読み上げますので、読みたい原稿の近くに別の原稿がある場合、別の原稿も読み上げてしまう可能性があります。可能な限り読みたい原稿の近くに他の原稿を置かないようにしてください。

目安として、読みたい原稿と他の原稿が約 10 cm 離れていれば、読みたい原稿のみを認識しやすくなります。

また、原稿の向きが合っていない場合、本機は原稿の向きを変更するように音声ガイドを出しますので、音声ガイドに従って原稿の向きを変更してください。

何度読み取らせても、本機が原稿を認識しない場合、原稿が裏表になっている可能性がありますので、原稿の裏表を変えてお試しください。

### 3-3、カメラモードについて

(ワンタッチモード、指差しモード、自動モード)。

#### カメラモードの切り替え方

カメラモードとは、原稿を撮影して読み取る際のモードです。カメラモードで左または右ナビゲーションボタンを押す度に、ワンタッチモード、指差しモード、自動モードの3つのモードを繰り返して切り替える事が出来ます。以下で各モードについて説明します。

#### ワンタッチモード

カメラボタンを1回押すことで、原稿を撮影し、読み上げるモードです。

#### 指差しモード

人差し指を認識して原稿を撮影し、指差した文字列約4行を読み上げるモードです。原稿の読み上げたい部分を指差します。本機が指を認識して自動で原稿を撮影し、読み上げますが、メロディー音が流れるまで指を離さないでください。

横書きの場合は、指の上の約4行を読上げます。縦書きの場合は、指の左の約4行を読み上げます。縦書きの場合は、右手のみを認識します。

#### 自動モード

原稿をカメラアームの下に置くだけで、自動で原稿を撮影し、読み上げるモードです。

### 4、使ってみましょう。

この章では本機の基本的な使用方法を説明します。

#### 4-1、初めて本機を使う場合。

ご購入後に初めて本機を使う場合、まずバッテリーを充電してください。バッテリーを充電するには、付属のACアダプターと電源ケーブルを使用してください。充電の詳しい説明は、6.2 バッテリーの充電方法、の章をご参照ください。

#### 4-2、 カメラアームを起こす。

本体前面にあるカメラアームの先端を、カチッと音が鳴るまで優しく本体側に押し込み指を離すと、カメラアームが起き上がります。カメラアームを再度収納する際は、カチッと音が鳴るまで優しく本体側にカメラアームを押し込んでください。

カメラモードは、カメラアームが起き上がっていないと使用することはできません。

カメラアームが起き上がる際に顔などに当たらないようにご注意ください。

#### 4-3、 電源を入れる。

本体右側面にある電源ボタンを約 2 秒長押しして、本体の電源を入れます。電源を入れると、ピープ音がして、電源ランプが青色に点灯し、しばらくするとメロディーと音声の流れ、使用可能な状態になります。

#### 4-4、 読み取り範囲内に原稿を設置する。

原稿の上下を確認し、上側の左右の中心を本体の前面の下側にある原稿位置確認突起に合わせて原稿を置きます。この時、本体の前面の一番下側が原稿に触れる程度に置いてください。

原稿の置き方についての詳しい説明は、3.2 原稿の置き方及び注意点、の章をご参照ください。

#### 4-5、 原稿を読み取り、読み上げ。

ワンタッチモードの場合は、カメラボタンを押すとピー、ピーという作動音の後にシャッター音がして原稿を撮影し、メロディー音の後に読み上げを開始します。最後まで読み終わると、終了音がして読み上げを停止します。

自動モードの場合は、原稿を設置するとピー、ピーという作動音の後にシャッター音がして原稿を撮影し、メロディー音の後に読み上げを開始します。最後まで読み終わると、終了音がして読み上げを停止します。原稿を置いたままにしておくと、繰り返し読み上げます。

指差しモードの場合は、読み上げたい文章を人差し指で指すとピー、ピーという作動音の後にシャッター音がして原稿を撮影し、メロディー音の後に読み上げを開始します。メロディー音が流れるまでは、指を動かさないでください。指が認識しにくい場合は、指の角度を変えてみてください。また、原稿の端の方は認識しにくい場合があります。原稿を約4行読み終わると、読み上げを停止します。

読み取り中は、本体と原稿を動かさないでください。いずれのカメラモードでも読み上げ中に他の原稿に差し替えて読み上げたい場合は、リターンボタンを押すと現在の読み上げをキャンセルできますので、その後、原稿を差し替え、それぞれのモードの操作を行ってください。

#### 4-6、再生を一時停止する。

読み上げを一時停止するには、再生ボタンを押します。再度、再生ボタンを押すと、読み上げを再開します。

#### 4-7、原稿を保存する。

読み取った原稿は保存することができます。保存するには、原稿を撮影し、読み上げを開始してからメニューボタンを長押しします。「保存中」という音声ガイドが流れますので、「保存完了」という音声ガイドが流れるまでにしばらくお待ちください。

「保存完了」という音声ガイドが流れる前にリターンボタンを押すと、「保存取消」の音声ガイドが流れ保存及び読み上げがキャンセルされます。原稿が保存されたかどうかを確認したい場合は、再度メニューボタンを長押しします。この時、「保存完了」という音声ガイドが流れたら、保存が完了したことを示します。「保存中」という音声ガイドが流れたら、まだ保存できていないことを示しているので、「保存完了」という音声ガイドが流れるまでにお待ちください。

注意：マイクロSDカードが本体右側面のマイクロSDカード挿入口に入っていないと保存はできません。本機のご購入時は、本体にマイクロSDカードが挿入されています。

保存ができるのは、原稿読み上げ中か一時停止中で、読み終わってからは保存できません。文字数が多い原稿を保存する場合、読み上げ開始すぐに保存操作を実行すると、

保存に 1 分以上かかる場合があります。保存中は、保存エラーを避けるため、絶対にマイクロ SD カードを抜かないでください。マイクロ SD カードを抜く場合は、本体の電源を切ってから行ってください。

メモ：保存された原稿は、読み上げ中の原稿の最初に読み上げた 15 文字（改行等がある場合は文字数が増減します）が自動的にタイトルとして付き保存されます。A4 サイズの原稿で最大 1000 枚まで保存できます。

保存がいっぱいになった後、保存しようとする、「メモリーがいっぱいです。保存できません。」と音声ガイドが流れますので、他の原稿を削除した後、保存を行ってください。

保存した原稿の再生や削除についての詳しい説明は、5.2.1 保存した原稿を再生する、や、5.2.2 保存した原稿を削除する、の章をご参照ください。

#### 保存したデータの消失について

取扱上の不備や本機の故障、あるいは修理によって、保存されたデータが消失することがあります。保存されたデータの消失による損害については、販売店、販売元及び製造元は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### 4-8、 音量を調整する。

本体の左側面に楕円形の音量調整ボタンがあります。ボタンの上側を押す度に音量が大きくなり、ボタンの下側を押す度に、音量が小さくなります。

### 4-9、 スリープモード。

電源が入っている状態で、電源ボタンを短く押すと、スリープモードが作動します。また、電源が入っている状態で、約 5 分間何も操作がなければ、自動的にスリープモードに入ります。スリープモード中は、電源ランプが青色に点滅します。スリープモードから本体を起動させるには電源ボタンを短く押します。

### 4-10、 電源を切る。

本体の電源が入っている状態で、電源ボタンを約 2 秒長押しすると、メロディーが流れ、本体の電源が切れます。完全に本体の電源が切れると、電源ランプが消灯します。

#### 4-11、読み上げ機能全般について。

原稿の状態や周囲の環境によっては、正確に読み上げる場合と、読み上げない場合があります。予めご了解願います。使用環境や原稿の向き等を確認いただいても上手く読み上げが出来ない場合は、本体の不具合かどうかを判断するために、本機の性能確認用サンプルの原稿を正しく読み上げるかどうかをお試しく下さい。

また、いずれのカメラモードでも、カメラボタンを約 3 秒長押しすれば強制的に読上げさせることができる機能が付いています。

この機能は、何らかの原因で本機が原稿を認識できず、原稿を撮影しない時に強制的に原稿を撮影し読み上げさせる機能です。ただし、原稿の方向認識機能が無効となり、原稿の向きが間違っている場合は、読み上げる内容がでたらめな日本語となってしまいます。強制読み上げを使用する場合は、原稿の向きにご注意ください。また、この機能の原稿サイズの認識は、メインメニューの詳細設定の範囲設定で設定されたサイズで認識します。出荷時の設定は A4 サイズです。原稿サイズの変更の詳しい説明は、5.2.7.1 範囲設定、の章をご参照ください。

### 5、本機のメニュー。

この章では本機のメニューについて詳しく説明します。

#### 5-1、メニューの呼び出しと終了。

メニューを呼び出すには、まず、メニューボタンを押してメインメニューを開きます。メインメニューを閉じるには、リターンボタンを押します。メインメニューの中の下位メニューを開いている場合は、リターンボタンを押すと、前の階層に戻ります。

下位メニューを開いたままスリープモードになった場合、スリープモードから復帰すると、上位のメインメニューに戻った状態になります。

#### 5-2、メニューを使う。

本機のメインメニュー項目は、再生リスト、読み上げ速度設定、ボイス設定、Wi-Fi 設定、Bluetooth 接続、詳細設定、本体情報、の七つです。各項目を有効にするには、左または右ナビゲーションボタンを使って、該当の項目まで移動します。該当の項目まで移動し、カメラボタンを押すと、その項目の下位メニューに入ります。



### 5-2-1、 保存した原稿を再生する。

保存した原稿を再生するには、メニューボタンを押して、メインメニューを開きます。カメラボタンを押すと、再生リストに入ります。左または右ナビゲーションボタンを押して、再生したい原稿を選択し、カメラボタンを押すと、再生を始めます。読み上げている内容を「一時停止」または「再生」するには、再生ボタンを押してください。

### 5-2-2、 保存した原稿を削除する。

保存した原稿を削除するには、メニューボタンを押して、メインメニューを開きます。カメラボタンを押すと、再生リストに入ります。左または右ナビゲーションボタンを押して、削除したい原稿を選択し、メニューボタンを長押しすると、「削除しますか」の音声ガイドが流れます。「はい」を選択し、カメラボタンを押すと、原稿を削除します。削除をキャンセルする場合は、左または右ナビゲーションボタンを押して「いいえ」を選択し、カメラボタンを押すと、キャンセルできます。

### 5-2-3、 読み上げ速度を調整する。

読み上げ速度を調整するには、メニューボタンを押して、メインメニューを開きます。左または右ナビゲーションボタンを押して、メインメニューの項目の読み上げ速度設定に移動します。カメラボタンを押すと、読み上げ速度設定の下位メニューに入ります。左ナビゲーションボタンを押すと、読み上げ速度が下がり、右ナビゲーションボタンを押すと、読み上げ速度が上がります。読み上げ速度は1から10までの10段階で調整できます。調整後、カメラボタンを押すと、設定が保存され、リターンボタンを押すと、設定の保存をキャンセルします。

### 5-2-4、 ボイスを選択する。

読み上げボイスを選択するには、メニューボタンを押して、メインメニューを開きます。左または右ナビゲーションボタンを押して、メインメニュー項目のボイス設定に移動します。カメラボタンを押すと、ボイス設定の下位メニューに入ります。左または右ナビゲーションボタンを押して、男性か女性かを選択し、カメラボタンを押すと、設定が保存され、リターンボタンを押すと、設定の保存をキャンセルします。出荷時の読み上げボイスは男性です。

※ボイスの変更は、ボイスを選択しただけではそれぞれの声を確認できず、カメラボタンを押して設定を保存してからでないと実際の声（女性の声、男性の声）には切り替わりませんので、ご了承ください。

### 5-2-5、 Wi-Fi 設定。

Wi-Fi を設定するには、スマートフォンが必要となりますので、スマートフォンをご用意ください。

Wi-Fi に接続するには、メニューボタンを押して、メインメニューを開きます。左または右ナビゲーションボタンを押して、メインメニュー項目の Wi-Fi 設定に移動します。カメラボタンを押すと、Wi-Fi 設定の下位メニューに入ります。スマートフォンにて、下記の Wi-Fi 接続アプリの QR コードをスマートフォンの機種に合せて読み取り、アプリをダウンロードしてください。ダウンロードを終了すると「AngelVision(エンジェルビジョン)」というアプリができますので、そのアプリを開いて、デバイス選択で「デスクトップリーダー」を選択し、アプリに従って QR コードを作成してください。本機の Wi-Fi は、2.4GHz 対応となります。アプリで作成された QR コードを本機のカメラの下（本体から 10 cm～20 cm 手前）に置き、カメラボタンを押すと、自動的に Wi-Fi に接続します。QR コードが認識しにくい場合は、スマートフォンを手にとって試してみてください。

Wi-Fi を切断したい場合は、メインメニュー項目の Wi-Fi 設定に移動し、カメラボタンを押すと現在接続済みの音声ガイドが流れます。その後、もう一度カメラボタンを押すと、Wi-Fi を切断します。



Android



iOS

## 5-2-6、 Bluetooth 接続。

Bluetooth 接続するには、メニューボタンを押して、メインメニューを開きます。左または右ナビゲーションボタンを押して、メインメニュー項目の Bluetooth 接続に移動します。本機と接続する Bluetooth 機器をペアリング状態にしてからカメラボタンを押すと、Bluetooth 接続の下位メニューに入り、Bluetooth 接続機器の検索を始めます。接続機器の検索中は、Bluetooth ランプが白色に点滅し始めます。左または右ナビゲーションボタンを押して、検索された Bluetooth 接続機器を選択します。カメラボタンを押して、接続機器に接続します。接続が完了すると、Bluetooth ランプが白色の点灯に変わります。

使用後、接続機器を切断する場合は、メインメニューを開き、左または右ナビゲーションボタンを押して Bluetooth 接続済みに移動し、カメラボタンを押すと接続を切断します。切断が完了すると、Bluetooth ランプは消灯します。

※本機の Bluetooth 接続については、1 度ペアリングを行っても接続を切断した場合や、接続機器の電源を入れ直した場合には、自動では接続しませんので、再度接続設定を行う必要があります。

## 5-2-7、 詳細設定。

詳細設定では、範囲設定や LED ライト設定が選択できます。メニューボタンを押して、メインメニューを開き、左または右ナビゲーションボタンを押して、メインメニュー項目の詳細設定に移動します。カメラボタンを押すと、詳細設定の下位メニューに入ります。

### 5-2-7-1、 範囲設定。

この項目で設定した読み取り範囲は、通常のカメラモードの使用では適用されません。この設定が適用されるのは、4.11 読み上げ機能全般について、の章に記載している、カメラボタンを長押しすれば強制的に読み上げる機能を利用する場合です。その時の認識範囲を A4 サイズか A3 サイズに切り替えるための設定です。詳細設定の下位メニューから、左または右ナビゲーションボタンを押して、範囲設定に移動します。カメラボタンを押して、範囲設定の下位メニューに入ります。左または右ナビゲーションボタンを押して、A4 または A3 を選択します。カメラボタンを押すと、設定が保存されます。出荷時の設定は A4 に設定されています。

### 5-2-7-2、 LED ライト設定。

この項目は原稿撮影時に LED ライトを自動モード、常時点灯モード、LED オフの 3 つに切り替える為の設定です。自動モードは、センサーが自動で明るさなどを検知し、自動で LED ライトが点灯、消灯を判断します。常時点灯モードは、原稿撮影時に常に点灯します。LED オフは、ライトが点灯しません。

LED ライトを設定するには、詳細設定の下位メニューから、左または右ナビゲーションボタンを押して、LED ライト設定に移動します。カメラボタンを押して、LED ライト設定の下位メニューに入ります。左または右ナビゲーションボタンを押して、LED ライトのモードを選択します。カメラボタンを押すと、設定が保存されます。出荷時は、自動モードに設定されています。

### 5-2-8、 本体情報。

本体情報では、システム情報、リセット、ソフトウェアのアップグレードが選択できます。メニューボタンを押して、メインメニューを開き、左または右ナビゲーションボタンを押して、メインメニュー項目の本体情報に移動します。カメラボタンを押すと、本体情報の下位メニューに入ります。

#### 5-2-8-1、 システム情報。

本体情報の下位メニューから、左または右ナビゲーションボタンを押して、システム情報に移動します。カメラボタンを押すと、現在のソフトウェアバージョンと、システムバージョンを確認することができます。

#### 5-2-8-2、 リセット。

リセット行くと、出荷時の状態に戻す事ができます。本体情報の下位メニューから、左または右ナビゲーションボタンを押して、リセットに移動します。カメラボタンを押すと、「リセットしますか?」「はい」の音声ガイドが流れます。カメラボタンを押すと、リセットが実行されます。リセットしない場合は、左または右ナビゲーションボタンを押して、「いいえ」を選択し、カメラボタンを押すと、リセットがキャンセルされます。

リセットを行うと、下記の項目が出荷時の状態に戻ります。カメラモードはワンタッチモード、音量は 5、読み上げ速度設定は 5、ボイス設定は男性、詳細設定の範囲設定は A4、

LED ライト設定は自動モード、に設定されます。

### 5-2-8-3、 ソフトウェアのアップグレード。

ソフトウェアをアップグレードするには、Wi-Fi に接続しなければなりません。Wi-Fi の接続方法は 5.2.5 Wi-Fi 設定、の章に記載されているので、そちらをご参照ください。Wi-Fi に接続後、本体情報の下位メニューから、左または右ナビゲーションボタンを押して、ソフトウェアのアップグレードに切り替えます。カメラボタンを押すと、新しいソフトウェアが配信されている場合は、「アップグレードするかどうか？」の音声ガイドが流れ、続いて「はい」の音声ガイドが流れたらカメラボタンを押します。アップグレードが開始され、終了するまでお待ちください。

新しい配信がない場合は、「最新バージョンです」の音声ガイドが流れます。アップグレードしない場合は、左または右ナビゲーションボタンを押して、「いいえ」を選択し、カメラボタンを押すと、アップグレードはキャンセルされます。

## 6、 充電とバッテリー。

この章では本機のバッテリーと充電方法について詳しく説明します。

### 6-1、 バッテリー残量の確認。

メニューボタンを押し、メインメニューに入ると、バッテリー残量を確認することができます。

### 6-2、 バッテリーの充電方法。

バッテリーを充電する際は、AC アダプターに電源ケーブルを接続し、ケーブルの丸い端子を本体背面にある AC アダプター接続端子に接続し、AC アダプターをご家庭のコンセントに接続して充電してください。バッテリーが 0 の状態で約 7 時間充電するとバッテリーがフル充電になります。バッテリーがフル充電の場合に、約 15 時間連続使用可能です。充電すると充電ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。

充電の注意事項として、充電には必ず付属の AC アダプターと電源ケーブルを使用してください。他の AC アダプターや電源ケーブルは、バッテリーや本機を傷める可能性があり、最悪の場合、発火する可能性があります。

また、充電中は、電源ケーブルが引っ張られるなどの負担がかからないようにご注意ください。ケーブルの断線や本機の AC アダプター接続端子の破損に繋がります。また、本機から電源ケーブルを外す際は、ケーブルの根本を持って抜いてください。

## 7、 原稿をパソコンで読み込む。

この章では、マイクロ SD カードに保存された原稿をパソコンで読み込む方法について詳しく説明します。

本体の電源を切り、右側面の下側のゴムカバーを外し、上から 2 番目の穴のマイクロ SD カード挿入口のマイクロ SD カードを指の爪で本体側にカチッと音がするまで押し込み、取り出します。マイクロ SD カードをパソコンのメモリスロットに差し込みます。もしメモリスロットがない場合は、SD カードリーダーを別途用意する必要があります。Microsoft Windows のエクスプローラー、もしくは MacOS のファインダーを開くと、いくつかのフォルダーがあり、AngelDoc というフォルダーに原稿が保存されています。原稿は txt（文字ファイル）と jpg（写真ファイル）の 2 つの形式で保存されています。パソコンへは、コピー＆ペーストで保存をお願いします。

マイクロ SD カード内のフォルダーやデータは、パソコンを使って書き換えや削除は故障の原因になりますので、行わないでください。また、AngelDoc 以外のフォルダーは、故障の原因になりますので、触らないようにお願いします。

マイクロ SD カードを本体に挿入する場合は、凸凹がある方を下向きにし、狭くなっている方から本体に挿入し、カチッと音がするまで指の爪で押し込んでください。マイクロ SD カード挿入口は右側面下側のゴムカバーを外すと確認でき、上から 2 番目の穴がマイクロ SD カード挿入口です。

## 8、 モニターに接続する。

この章では本機をテレビまたは外部モニターに接続して使用する場合について説明します。なお、テレビまたは外部モニター、HDMI ケーブルは付属しておりません。お客様ご自身でご購入いただきますようお願いいたします。また、画面上で原稿を拡大/縮小することはできませんので、ご了承ください。

本機をテレビまたは外部モニターに接続すると、撮影された画像を大きな画面で見ることができます。HDMI ケーブルの片方を本体背面の HDMI 出力端子に接続し、もう片方はテレビ、またはモニターの HDMI 入力端子に接続すると、画面に映像が映ります。カメラモードで原稿を撮影すると、撮影した画像を画面で確認することができます。また、メニューボタンを押してメインメニューに入った際も、メニューの内容を画面上で確認できます。

## 9、故障かなと思ったら…。

まず、以下をご確認いただき、それでも解決できない場合は、ご購入いただいた販売店もしくは、13.お問い合わせ窓口に記載している窓口まで連絡ください。

### 9-1、電源が入らない。

充電がなくなっている可能性があります。充電を行ってください。

### 9-2、充電できない。

- ① 一度本体と電源ケーブル、電源ケーブルと AC アダプターのそれぞれの接続を外して、再度接続し直してください。
- ② それでも改善しない場合は、ご家庭の別のコンセントで充電してみてください。

### 9-3、カメラボタンを押しても反応しない。

- ① スリープモードに入っていないか確認してください。スリープモード中は、電源ランプが青色に点滅します。スリープモードを解除するには電源ボタンを押してください。
- ② それでも反応しない場合は、電源が入っているかを確認してください。電源が入っていると、電源ランプが青色に点灯します。電源が入らない場合は、本体を充電してください。充電状態で電源を入れて、カメラアームを上げた状態で再度カメラボタンを押してください。

### 9-4、どのボタンを押しても反応しない。

- ① 本体の起動時に電源ボタンを押しても反応しない場合は、充電してから再度電源ボタンを押してみてください。
- ② 操作中にどのボタンを押しても反応しない場合は、一度電源を切って、30 秒ほどお待ちいただき、再度電源を入れてみてください。この時、電源ボタンを押しても反応し

ない場合は、充電している状態で再度電源ボタンを押して、電源を入れてみてください。

### 9-5、原稿を認識できない。

- ① 一度リターンボタンを押してから、それぞれのカメラモードの操作を再度試してみてください。
- ② 原稿を裏向きに置いていないか確認をしてください。
- ③ 再度原稿を設置し直して、読み込んでください。原稿の位置や方向により、認識できない場合もあります。この時、本体の指示に従ってください。
- ④ 本機の付属の性能確認用サンプルを読み取ってみてください。
- ⑤ また、本機の撮影範囲に原稿以外の印刷物や物体などがあると、それらを認識してしまい、原稿をうまく読み取らない場合があるため、撮影範囲にものを置かないようにしてください。また、テーブルの端で読み取らせると、認識できない場合もあるので、テーブルの中央で読み取らせるようにしてください。
- ⑥ カメラやセンサーにホコリ・ゴミ・油脂などの汚れが付着していないか確認してください。汚れが付いていると、認識できなくなる可能性もあるため、柔らかい布で優しく取り除いてください。
- ⑦ 本書の 4.11 読み上げ機能全般について、の章に記載している通り、カメラボタンを約 3 秒長押しすると、強制的に原稿を撮影し読み上げさせることができます。この機能をお試しください。撮影の範囲設定については、5.2.7.1 範囲設定、の章をご参照ください。
- ⑧ 上記を試していただいても認識できない場合は、一度電源を切って、再度電源を入れ直して、読ませてみてください。

### 9-6、原稿を保存できない。

- ① マイクロ SD カードが正しい向きに、奥までしっかり挿し込まれているかを確認してください。正しく挿し込まれていない場合、本体はマイクロ SD カードを認識できないので、挿し込み直してください。
- ② 再生リストには最大 1000 枚までの原稿を保存できますが、1000 枚を過ぎると、保存できなくなる可能性があります。使わない原稿や古いデータを削除して、再度保存してみてください。



## 9-7、 その他。

本体をリセットしてください。リセットするには 5.2.8.2 リセットをご参照ください。リセットすると、出荷時の状態に戻ります。

## 10、 注意事項。

本機を安全かつ正しく使用するため、本機を使用する前に取扱説明書をよく確認いただき、下記の安全上の内容にご注意ください。

本機を清掃する際は、必ず電源ケーブルを抜き、電源を切ってから、柔らかい布で外側を拭いてください。研磨剤や薬品を使つての清掃は故障の原因になりますので、研磨剤や薬品は使用しないでください。

本機は丁寧に扱う必要があります。大きな衝撃や振動を加えないでください。また、本体を持ち運ぶ際は、ハンドルを持って慎重に取り扱ってください。手荒に扱い、ぶつかけたり振り回したりすると、破損や故障の原因になります。

本機を人為的に汚染された環境に置かないでください。

本機を使用する際には、ベンゼン、シンナーなどの化学薬剤に触れないようにしてください。また、火元から離してください。

本機を高温高湿環境下に置かないでください。また、負傷や使用中の感電を防止するため、本機を水や洗剤などで洗淨しないでください。

本機のいかなる部品も、自分で分解、修理、改造、交換しないでください。また、本機に異常を感じた場合には、直ちに使用を中止し、点検や修理は必ずご購入いただいた販売店または 13.お問い合わせ窓口の章に記載されているお問い合わせ窓口にご依頼ください。

本機を廃棄される場合は、お住いの自治体の分別指示に従って処分してください。

本機に付属の充電器のみを使用してください。別の充電器を使用すると、本機の保証が無効になるだけでなく、重大な事故や災害が発生する可能性があります。

本機は小さなお子様の手が届かないところに置いてください。

## 11、 免責事項。

- ① ユーザーの合法的な権益を保護するために、本機を使用する前に、取扱説明書、注意事項と免責事項をよくお読みください。なお、上記内容を予告なしに変更または廃止される場合がございます。本機は、取扱説明書および注意事項に従って操作する

必要があります。

- ② 本機の使用を始めると、ユーザーは本機の取扱説明書、注意事項と免責事項の条項と内容を理解し、承認したとみなされます。ユーザーは自分の行為とそれによって発生するすべての結果に対して責任を取ることを承諾し、正当な目的でのみ本機を使用することを約束し、この条項および当社が策定した任意の関連政策または方針に同意したとみなされます。
- ③ 本機を使用する際には、取扱説明書や注意事項に含まれる要件を厳格に遵守し、実行する必要があります。注意事項に違反する使用行為または不可抗力によるすべての人身傷害、事故、財産損失、法律紛争、その他すべての利益衝突をもたらす不利な事件については、すべてユーザー自身が責任と損失を負担し、当社はいかなる責任も負いません。ユーザーが本機を使用して行った、いかなる直接または間接的な法律規定に違反する行為について、当社はいかなる責任も負いません。
- ④ 当社は、本機の欠陥、瑕疵、補修によるいかなる間接的な損失（利益、予想利益、時間等の損失を含む）を負担せず、当社の本機及び修理に対する賠償責任は、ユーザーが本機を購入して実際に支払った金額を超えません。

## 12、仕様情報。

モデル：SR-D1

サイズ：約 280mm x 155mm x 150mm（カメラアームを閉じた状態）  
約 400mm x 155mm x 325mm（カメラアームを上げた状態）

重量：約 1.9kg

作動温度範囲：0°C~40°C

Wi-Fi：2.4GHz

Bluetooth：バージョンが 5.0 以下の機器が接続できます。

電源：DC 5V/2A

材質：ABS

バッテリー容量：リチウムイオン電池 6700mAh

充電時間：約 7 時間

連続使用時間：約 15 時間（モニターなどを接続した場合）  
使用状況により、連続使用時間は変化します。

メモリー：2GBRAM + 160GBRAM

カメラピクセル：13MP

**保存容量：最大 1000 枚まで（A4 サイズの原稿）**

**入出力：3.5mm イヤホン接続端子、HDMI 出力端子**

**拡張コネクタ：USB-A 接続端子、USB-C 接続端子、マイクロ SD カード挿入口**

### **13、 お問い合わせ窓口。**

**フリーダイヤル：0120-960-807**

**受付時間：平日 9:00～12:00**

**13:00～17:30（土曜・日曜・祝日は休み）**

**年末年始は 12 月 29 日から 1 月 4 日まで休み**

**輸入販売元：株式会社システムギアビジョン**

**〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 1-6-11**

**TEL：0797-74-2206 FAX：0797-73-8894**

**URL：<https://www.sgv.co.jp/>**

**E-mail：[sgv-info@systemgear.com](mailto:sgv-info@systemgear.com)**